

Operation Manual GB

Benutzerhandbuch D

Fonctions Détaillées F

Manual de Operaciones E

Manuale Operativo IT

オペレーションマニュアル J

USB AUDIO INTERFACE **CI 2+**



EN
DE
FR
ES
IT
JA

 **steinberg**

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
---	---

 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
---	--

この製品の内部には、お客様が修理 / 交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。

警告

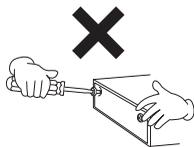
分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。



水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐにUSBケーブルをこの機器から抜き、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手でUSBケーブルを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

火に注意



本体の上にはろうそくなど火気のあるものを置かない。

ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

禁止

⚠ 注意

設置



直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところに置かない。

本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。

禁止



テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。

楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。

禁止



不安定な場所に置かない。

本体が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがををしたりする原因になります。

禁止



本体を移動するときは、必ずUSBケーブルなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。

必ず実行

接続

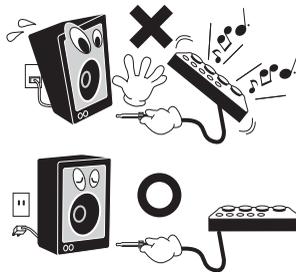


必ず実行

他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にする。

さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。

感電または機器の損傷の原因になることがあります。



手入れ



禁止

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。

本体のパネルが変色/変質する原因になります。お手入れには、乾いた柔らかい布、もしくは水を固くしぼった柔らかい布をご使用ください。

使用時の注意



必ず実行

スピーカーの故障を防ぐために、電源を入れるときは、最後にモニタースピーカーの電源を入れる。また、電源を切るときは、最初にモニタースピーカーの電源を切る。



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

パネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐにUSBケーブルを抜き、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。

本体のパネルが変色/変質する原因になります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。

聴覚障害の原因になります。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、コンピューターの電源を切る、またはUSBケーブルをコンピューターから抜き、必ず電源を切りましょう。

* この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

注記

- このオペレーションマニュアルの著作権はすべてヤマハ株式会社(以下「ヤマハ」)が所有します。
- 巻末にこのソフトウェアのご使用条件が記載されています。このソフトウェアをインストールする前に、必ずこのご使用条件をお読みください。ディスクの包装を解かれた場合は、このソフトウェアのご使用条件に同意したことになります。
- このソフトウェアおよびオペレーションマニュアルの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- このソフトウェアおよびオペレーションマニュアルを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、別途ご案内させていただきます。
- このオペレーションマニュアルに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- SteinbergおよびCubaseは、Steinberg Media Technologies社(以下「Steinberg」)の登録商標です。
- この製品は、Steinbergおよびヤマハが著作権を有する著作物やSteinbergおよびヤマハが第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、音楽データなどのコンテンツを含みます。Steinbergおよびヤマハの許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を超えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。
- Steinberg、ヤマハおよび第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- MacまたはMacintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

目次

はじめに	6
特長	6
パッケージの内容	7
付属のディスクについて	7
電源について	8
各部の名称と機能	9
フロントパネル	9
リアパネル	13
ソフトウェアのインストール	14
Cubase Essentialのインストール	14
TOOLS for CI2のインストール	15
機器との接続	18
接続例	18
オプション(別売)	18
使ってみよう	19
Cubaseで使う準備	19
録音してみよう	20
編集してみよう	22
困ったときは？	23
TOOLS for CI2のアンインストール	25
資料	26
入出力仕様	26
一般仕様	26
TOOLS for CI2のご使用条件	27
ユーザーサポートサービスについて	29
保証書	32

はじめに

このたびは、USBオーディオインターフェースCI2+をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。CI2+は、Cubaseを使った音楽制作に最適なオーディオインターフェースです。USBケーブルを使ってコンピューターに接続するだけで、すぐにCubaseとの快適な音楽制作環境を構築できます。

CI2+の優れた機能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、このオペレーションマニュアルをご使用の前に必ずお読みください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

特長

■ USB バスパワー動作

コンピューターとCI2+を付属のUSBケーブル1本で接続するだけで、CI2+に電源を供給できます。

■ ファンタム電源 (+48V) を供給可能

2つのアナログ入力端子(XLRタイプ)にファンタム電源を供給できます。

■ Core Audio (Mac OS X)、ASIO/WDM (Windows) 対応

CubaseなどのCore Audio/ASIO対応DAWソフトウェアを使うことで、発音の遅延時間(レイテンシー)を短くできます。

■ DAW ソフトウェア Cubase Essential 付属

付属のソフトウェア Cubase Essential を使うと、手軽にハードディスクレコーディングを楽しむことができます。

■ ブラウズモードで Cubase に素早くアクセス

ブラウズモードを使って、Cubase上に新規プロジェクトを作成したり、新しいトラックを作成したりできます。

■ インタラクティブレコーディング機能で簡単録音

[ACTION PAD] ボタン(別売のヤマハ製フットスイッチ「FC5」でも代用可能)で、Cubaseのインタラクティブレコーディング機能を使用できます。インタラクティブレコーディング機能を使うと、簡単な操作で録音できます。

■ Cubase をコントロール

AI KNOBを使ってCubaseをコントロールできます。AI KNOBは、Cubase上の様々なパラメーターにマウスポインターをあてるだけで、瞬時に該当するパラメーターをコントロールできます。また、[PLAY/STOP] ボタン、[REC] ボタン、[PREVIOUS] ボタン、[NEXT] ボタンを使って、再生や録音などを操作できます。

パッケージの内容

CI2+のパッケージには、次のものが同梱されています。箱を開けたらまず同梱品を確認してください。

- CI2+本体
- CI2+オペレーションマニュアル(本書:保証書付き)
- TOOLS for CI2 CD-ROM
- Cubase Essential DVD-ROM
- USB-eLicenser (USB プロテクションデバイス)
- ESSENTIAL PRODUCT LICENSE INFORMATIONカード
- USBケーブル
- フェライトコア

NOTE

Cubase Essentialのマニュアルは、Cubaseの「ヘルプ」メニューから開くPDF形式です。PDFマニュアルをご覧になるには、コンピューターにAdobe Reader(無償)がインストールされている必要があります。最新のAdobe Readerは下記のURLよりダウンロードできます。

<http://www.adobe.com/jp/products/reader/>

USB-eLicenser と ESSENTIAL PRODUCT LICENSE INFORMATION カードご使用時の注意

注意

- USB-eLicenser、ESSENTIAL PRODUCT LICENSE INFORMATIONカードには、ソフトウェアを使用するためのライセンスの情報が含まれています。紛失/破損をするとソフトウェアが起動できなくなります。
- USB-eLicenser、ESSENTIAL PRODUCT LICENSE INFORMATIONカードを紛失/盗難された場合、再発行はできません。製品版Cubaseを改めてご購入いただく必要があります。

付属のディスクについて

ディスクの内容

付属ディスク(TOOLS for CI2 CD-ROM、Cubase Essential DVD-ROM)には、以下のソフトウェアが収録されています。

TOOLS for CI2 CD-ROM

- TOOLS for CI2

Cubase Essential DVD-ROM

- Cubase Essential

ディスク使用上のご注意

注意

- お客様がこのディスク/ソフトウェアの複製を試みた結果生じた損害については、Steinberg Media Technologies社およびヤマハ株式会社は一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 同梱されているソフトウェアのディスクは、オーディオ/映像用ではありません。コンピューター以外の機器では絶対に使用しないでください。

重要

- TOOLS for CI2 CD-ROMは、27ページに記載しているソフトウェアのご使用条件を十分お読みいただき、ご同意のうえで開封してください。開封された場合は、このソフトウェアのご使用条件に同意していただいたこととなります。
- TOOLS for CI2に収録されているYamaha Steinberg USB Driver、Steinberg CI2 Extensionの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- Cubase Essential DVD-ROMの著作権は、Steinberg Media Technologies社が所有します。
- ソフトウェアの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- 付属ディスクに収録されているソフトウェアの最新情報は、下記URLをご参照ください。バージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、Webでの対応とさせていただきます。
http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/supportupdates_ci2plus_j

ソフトウェアの動作環境

付属ディスク (TOOLS for CI2 CD-ROM、Cubase Essential DVD-ROM) に収録されているソフトウェアをインストールしてお使いいただくためには、以下の動作環境が必要です。

Windows

OS:	Windows XP Professional (SP3)/ Windows XP Home Edition (SP3)/ Windows Vista (SP1以降、32ビット版/ 64ビット版*)/ Windows 7 (32ビット版/ 64ビット版*)
CPU:	2GHz以上 (Dual Core プロセッサ推奨)
メモリー:	1GB以上
画面解像度:	1280×800ピクセル以上 一フルカラー
インターフェース:	USB端子を搭載していること
HDD:	4GB以上の空き容量、 高速なハードディスク

*Cubase Essentialは、Windows Vista 64ビット版およびWindows 7 64ビット版では32ビットアプリケーションとして動作します。

Mac OS X

OS:	Mac OS X 10.5.5以降/ Mac OS X 10.6.x
CPU:	PowerPC G5 (Intel Core Duo以上を推奨)
メモリー:	1GB以上
画面解像度:	1280×800ピクセル以上 一フルカラー
インターフェース:	USB端子を搭載していること
HDD:	4GB以上の空き容量、 高速なハードディスク

NOTE

- Cubase Essentialのインストールには、DVDドライブが必要です。
- お使いのOSによっては、上記の仕様以上の条件を満たす必要があります。
- Cubase Essentialのライセンスをダウンロードするためには、インターネット環境が必要です。

- CI2+のオーディオ出力の機能は、Mac OS X 10.4.11でもお使いいただけます。TOOLS for CI2をインストールしてご使用ください。

電源について

電源供給

CI2+は、USBケーブル経由でコンピューターから電源供給を受ける機器 (USB パワー機器) です。電源コードを使ってコンセントから電源をとる仕様ではありません。

USB 端子ご使用時の注意

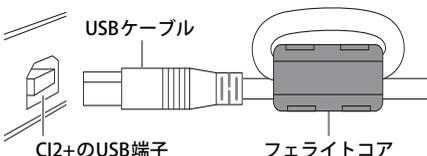
USB 端子とコンピューターを接続するときは、以下のことを行なってください。以下のことを行なわないと、コンピューターやCI2+本体が停止 (ハングアップ) して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。コンピューターや本体が停止したときは、アプリケーションやコンピューターを再起動してください。

注記

- USB 端子とコンピューターを接続する前に、コンピューターの省電力 (サスペンド/スリープ/スタンバイ/休止) モードを解除してください。
- USB ケーブルの抜き差しをする前に、コンピューターのすべてのアプリケーションを終了させてください。
- USB ケーブルをUSB端子から抜き差しする場合は、MASTERコントロールなどの出力コントロールを最小にしておいてください。
- USB ケーブルの抜き差しは、6秒以上間隔を空けて行なってください

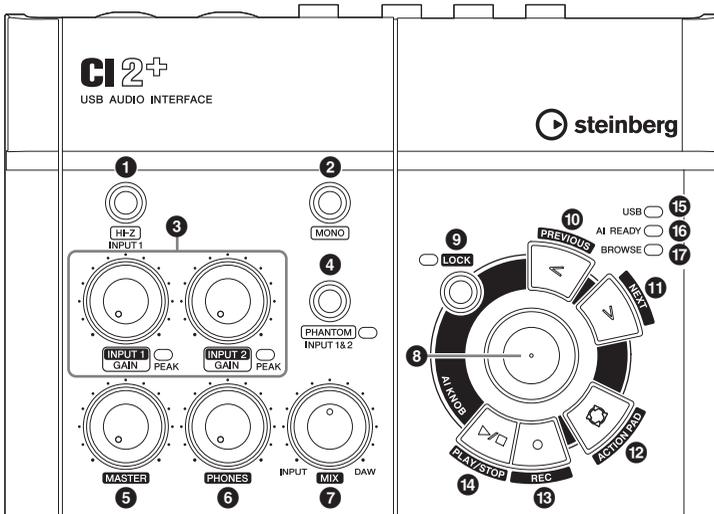
NOTE

電磁干渉防止のために、CI2+本体のUSB端子に近いところで、フェライトコアをUSBケーブルに固定してください。



各部の名称と機能

フロントパネル



ミキサー部

AI KNOB部

ミキサー部

① [HI-Z INPUT 1]ボタン

アナログ入力端子1のHI-Zをオン(▲)/オフ(■)するボタンです。プリアンプを内蔵しないパッシブタイプのピックアップを持つエレキギターやエレキベースなどを直接接続する場合に、このボタンをオンにします。

NOTE

- [HI-Z INPUT 1]ボタンをオンにしてエレキギターなどを接続する場合は、楽器とアナログ入力端子1をアンバランスのフォーンケーブルで接続してください。バランス方式やXLRケーブルで接続した場合は、正常に動作しません。
- アナログ入力端子1に機器を接続しない場合は、このスイッチをオフにしておいてください。オンにすると、ノイズが入ることがあります。

② [MONO]ボタン

アナログ入力端子1と2をモノラルチャンネルとして使用するか、ステレオチャンネルとして使用するかを切り替えるボタンです。このボタンをオン(▲)にすると、アナログ入力端子1と2がモノラルチャンネルとなり、LINE OUT端子のLとRの両方にアナログ入力端子1と2の信号が送られます。アナログ入力端子1に接続したマイクやギターなどの音を、モニタースピーカーのセンターで聞く場合に使用します。このボタンをオフ(■)にすると、アナログ入力端子1と2をステレオチャンネルとして使用できます。このとき、アナログ入力端子1の信号はLINE OUT端子のLへ、アナログ入力端子2の信号はLINE OUT端子のRへ送られます。[MONO]ボタンのオン/オフは、コンピューターに送信される信号には影響を与えません。

③ INPUT 1/2 GAINコントロール/PEAKインジケータ

入力信号のゲイン（信号の増幅量）を調節します。GAINコントロールを通過した直後の信号が、コンピューターに送信されます。信号の最大入力時にPEAKインジケータが一瞬点灯する程度にGAINコントロールを設定すると、録音レベルのバランスがとれた良好な状態になります。

④ [PHANTOM INPUT 1&2] ボタン/インジケータ

ファンタム電源(+48V)をオン(■)/オフ(■)するボタンです。このボタンをオンにすると、アナログ入力端子1と2(XLRタイプ)にファンタム電源を供給します。このボタンがオンのとき、インジケータが点灯します。コンデンサーマイクを使用するときは、このボタンをオンにしてください。



注意

- ファンタム電源が不要なときは、必ずオフにしておいてください。
- ファンタム電源をオンにする場合は、コンデンサーマイクなどのファンタム電源を必要とする機器以外が接続されていないことを確認してください。外部機器の故障の原因になります。ただし、バランス型ダイナミックマイクは接続されていても問題ありません。アナログ入力端子(フォーンタイプ)にアンバランス機器を接続してファンタム電源をオンにすると、故障にはなりません。ハムやノイズの原因になることがあります。
- ファンタム電源をオンにしたまま機器を抜き差ししないでください。外部機器および本体の故障の原因になります。
- スピーカー保護のために、モニタースピーカー(パワードスピーカー)の電源をオフの状態、ファンタム電源をオン/オフしてください。また、MASTERコントロールなどの出力コントロールは、すべて最小にしておくことをおすすめします。大音量が出て、聴力障害または外部機器の損傷になることがあります。

⑤ MASTERコントロール

LINE OUT 端子に出力される信号のレベルを調整します。アナログ入力端子に入力された信号や、DAWなどのソフトウェアから出力された信号の音量バランスを変化させることなく、全体の音量だけを調節します。MASTERコントロールは、コンピューターに送信される信号には影響を与えません。

⑥ PHONESコントロール

PHONES端子に出力される信号のレベルを調整します。この信号のレベルは、MASTERコントロールの影響を受けません。

⑦ MIXコントロール(INPUT—DAW)

アナログ入力端子に入力された信号(INPUT)と、DAWなどのソフトウェアから出力された信号(DAW)の音量バランスを調節します。MIXコントロールは、コンピューターに送信される信号には影響を与えません。

AI KNOB 部

AI KNOB部の操作子は、モードによって動作が異なります。モードには、ノーマルモードとブラウズモードの2つがあります。ノーマルモードは、Cubase起動時の通常モードを指します。ブラウズモードは、Cubaseの「サウンドをブラウズ」などの画面を開いている状態を指します。ここではノーマルモードでの動作を説明します。ブラウズモードの動作については、12ページの「AI KNOB部のノーマルモードおよびブラウズモードの動作」をご参照ください。

⑧ AI KNOB (AI ノブ)

AI KNOBを回す

Cubase上の様々なパラメーターにマウスポインターをあてるだけで、瞬時に該当するパラメーターをコントロールできます。

AI KNOBを押す

Cubaseの「サウンドをブラウズ」などの画面を開きます(ブラウズモードに移ります)。このとき開く画面は、Cubaseの画面の状態により異なります。次の表をご参照ください。

Cubaseの画面の状態	開く画面
プロジェクトを開いていない	プロジェクトアシスタント
プロジェクト画面	サウンドをブラウズ
アクティブなVST/VSTiプラグインの画面を開いている	サーチ&ビューアー
インタラクティブレコーディングパネルを開いている	プリセットポップアップリスト

9 [LOCK] ボタン/インジケータ

AI KNOB で操作するパラメーターを固定できるボタンです。Cubaseの操作したいパラメーターにマウスポインターを合わせてボタンをオンにすると、以降はマウスポインター位置にかかわらず、固定したパラメーターを操作できます。パラメーターを固定しているとき、インジケータが点灯します。ボタンをオフにすれば、すぐにロックを解除して、ほかのパラメーターを操作できます。

10 [PREVIOUS] ボタン

Cubaseのプロジェクトカーソルを前のマーカーに移動させます。長押しすると巻き戻します。[PREVIOUS] ボタンと[NEXT] ボタンを同時に押すと、Cubaseのサイクルのオン/オフを切り替えできます。

11 [NEXT] ボタン

Cubaseのプロジェクトカーソルを次のマーカーに移動させます。長押しすると早送りします。[PREVIOUS] ボタンと[NEXT] ボタンを同時に押すと、Cubaseのサイクルのオン/オフを切り替えできます。

12 [ACTION PAD] ボタン

Cubaseのインタラクティブレコーディング機能を使うためのボタンです。このボタンを押すと、インタラクティブレコーディングパネルを表示します。インタラクティブレコーディングパネルがすでに表示されている場合は、インタラクティブレコーディングパネルに登録した2個から6個の一連の動作を順に実行できます。

13 [REC] ボタン

Cubaseの録音を実行します。

14 [PLAY/STOP] ボタン

Cubaseの再生/停止を実行します。すばやく2回押すと、プロジェクトカーソルを開始位置に移動させます。

15 USB インジケータ

CI2+とコンピューターの通信状態を表すLEDです。CI2+とコンピューターをUSBケーブルで接続し、コンピューターと通信可能な状態になるとLEDが点灯します。

16 AI READY インジケータ

CI2+とCubaseの通信状態を表すLEDです。CI2+との連携機能に対応したCubaseと通信可能な状態になるとLEDが点灯します。

重要

CI2+との連携機能を実現できるCubaseは、CubaseやCubase Essentialなどのバージョン5.1.1以降になります。詳しくは、下記URLをご参照ください。
http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/supportupdates_ci2plus_j

17 BROWSE インジケータ

Cubaseの「サウンドをブラウズ」などの画面を開いているとき(ブラウズモードのとき)に点灯します。点灯しているときはブラウズモード、消灯しているときはノーマルモードです。

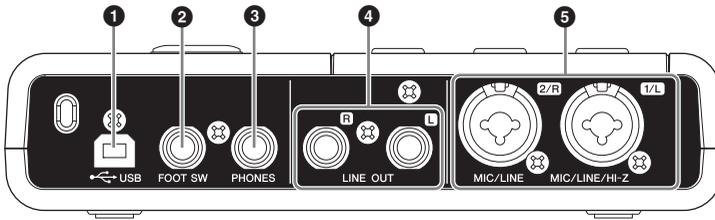
AI KNOB部のノーマルモードおよびブラウズモードの動作

	ノーマルモード	BROWSE 消灯 BROWSE <input type="radio"/>	ブラウズモード	BROWSE 点灯 BROWSE <input checked="" type="radio"/>
AI KNOBを回す	Cubase上の様々なパラメーターにマウスポインターをあてるだけで、瞬時に該当するパラメーターをコントロールできます。		カーソルの移動。[ACTION PAD]を押しながらの場合は、カーソルを前後の欄に移動(複数の欄がある画面のみ)。	
AI KNOBを押す	Cubaseの「サウンドをブラウズ」などの画面を開きます(ブラウズモードに移ります)。(詳細は10ページ参照)		選択項目のオン/オフ(複数の項目が選択できる画面のみ)や決定。	
[LOCK]ボタン	AI KNOBで操作するパラメーターを固定できるボタンです。(詳細は11ページ参照)		キャンセルして画面を閉じる(ノーマルモードに戻る)。2秒以上押すと、すべての選択項目をキャンセル(複数の項目が選択できる画面のみ)。	
[ACTION PAD]ボタン	Cubaseのインタラクティブレコーディング機能を使うためのボタンです。(詳細は11ページ参照)		次の欄に移動(複数の欄がある画面のみ)。	
[PREVIOUS]ボタン	Cubaseのプロジェクトカーソルを前のマーカーに移動させます。(詳細は11ページ参照)		前の欄に移動(複数の欄がある画面のみ)。	
[NEXT]ボタン	Cubaseのプロジェクトカーソルを次のマーカーに移動させます。(詳細は11ページ参照)		次の欄に移動(複数の欄がある画面のみ)。	

NOTE 

[REC]ボタンと[PLAY/STOP]ボタンは、どちらのモードでも同じ動作です。

リアパネル



1 USB 端子

付属のUSBケーブルを使ってコンピューターとCI2+を接続します。

2 FOOT SW 端子

別売のヤマハ製フットスイッチ「FC5」を接続します。フットスイッチを接続すれば、[ACTION PAD]ボタンの機能をフットスイッチで行なえます。

3 PHONES 端子

ヘッドフォンを接続します。この端子は、アナログ入力端子に入力された信号や、DAWなどのソフトウェアから出力された信号を出力します。出力レベルは、PHONESコントロールで調整します。この端子から出力される信号は、MASTERコントロールの影響を受けません。

4 LINE OUT 端子 L/R

モニタースピーカー（パワードスピーカー）などを接続します。この端子は、アナログ入力端子に入力された信号や、DAWなどのソフトウェアから出力された信号を出力します。出力レベルは、MASTERコントロールで調整します。

NOTE

アナログ入力端子に入力された信号と、DAWなどのソフトウェアから出力された信号の出力バランスは、MIXコントロールで調整します。

5 MIC/LINE/Hi-Z 端子 1/L (アナログ入力端子 1)/ MIC/LINE 端子 2/R (アナログ入力端子 2)

マイクやギターなどを接続します。この端子には、出力端子がXLRタイプまたはフォンタイプ(1/4" TSまたは1/4" TRS)の機器を接続できます。この端子に入力された信号は、コンピューターとLINE OUT端子の両方に送られます。

NOTE

アナログ入力端子1には、エレキギターやエレキベースを直接接続することもできます。このとき、フロントパネルの[Hi-Z]ボタンをオン(■)にしてください。また、エレキギターやエレキベースとアナログ入力端子1をアンバランスのフォンケーブルで接続してください。バランス方式やXLRケーブルで接続した場合は、正常に動作しません。

ソフトウェアのインストール

CI2+ をコンピューターと接続して使用するためには、ソフトウェアのインストールを行なう必要があります。ここではソフトウェアのインストール手順について説明します。はじめにCubase Essentialをインストールし、つぎにTOOLS for CI2をインストールしてください。

NOTE

- ソフトウェアをインストールする前に、8ページの「ソフトウェアの動作環境」をご確認ください。OSの対応状況やソフトウェアの更新などの最新情報は、次のスタインバークのウェブサイトでご確認いただけます。
<http://japan.steinberg.net/jp/support.html>
- すでにCI2+との連携機能に対応したCubase (11ページ)をインストールしている場合は、「Cubase Essentialのインストール」は不要です。「TOOLS for CI2のインストール」から作業を行ってください。

Cubase Essential のインストール

Cubase Essentialのインストールには、次の3つの手順があります。

- ソフトウェアのインストール
- ライセンスのダウンロード(アクティベーション)
- ユーザー登録と製品登録

NOTE

- 「ライセンスのダウンロード」と「ユーザー登録と製品登録」には、インターネット環境が必要です。
- ユーザー情報とご購入された製品を登録(レジストレーション)していただくことで、テクニカル・サポートやバージョンアップ等の様々なユーザーサポートサービスをお受けいただけます。

ソフトウェアのインストール

Cubase Essential DVD-ROMを使ってソフトウェアをインストールします。次の手順でインストールしてください。

1. コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログオンします。
2. Cubase Essential DVD-ROMをDVD-ROMドライブに挿入します。
3. 「WELCOME TO CUBASE ESSENTIAL」画面が表示されますので、国旗アイコンをクリックして使用する言語を選択します。

NOTE

この画面が自動で表示されない場合は、DVD-ROMを開き、「Cubase Essential Start Center」をダブルクリックしてください。

4. 「CUBASE ESSENTIALをインストールする」をクリックします。

5. 表示される画面の指示に従ってインストールします。

ライセンスのダウンロード(アクティベーション)

USB-eLicenserとESSENTIAL PRODUCT LICENSE INFORMATIONカードを使って、製品のライセンスをインターネット経由でダウンロードします。次の手順でライセンスをダウンロードしてください。

6. USB-eLicenserをコンピューターのUSB端子に接続します。

「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示された場合、「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択してインストールしてください。

7. 次の方法で、「eLicenser Control Center」を起動します

(Windows)

[スタート]→[(すべての)プログラム]→[eLicenser]→[eLicenser Control Center]をクリックします。

(Mac OS X)

[Macintosh HD]→[アプリケーション]→[eLicenser Control Center]をダブルクリックします。

8. [アクティベーションコードの入力]をクリックします。

9. ESSENTIAL PRODUCT LICENSE INFORMATIONカードに記載されているアクティベーションコードを半角文字で入力します。

10. 画面の指示に従って、ライセンスをダウンロードします。

ユーザー登録と製品登録

Steinbergのホームページ「MySteinberg」でユーザー登録と製品登録をします。詳細は下記URLをご参照ください。

<http://www.steinberg.net/jp/mysteinberg/mysteinberg.html>

以上で、Cubase Essentialのインストールは完了です。

TOOLS for CI2 のインストール

TOOLS for CI2は、「Yamaha Steinberg USB Driver」と「Steinberg CI2 Extension」の2つのソフトウェアで構成されています。Yamaha Steinberg USB Driverは、CI2+をコンピューターに接続して使用するためのドライバーです。またSteinberg CI2 Extensionは、CI2+との連携機能に対応したCubase (11ページ)と組み合わせて使うためのソフトウェアです。TOOLS for CI2インストーラーにより、これら2つのソフトウェアがインストールされます。次の手順に従ってインストールしてください。

Windows 場合 15ページ

Mac OS X の場合 17ページ

Windows の場合

インストール前の準備 1

1. コンピューターから、マウスとキーボード以外のUSB機器をすべて外します。
2. コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログオンします。
アプリケーションを終了し、使っていないウィンドウをすべて閉じます。

インストール前の準備 2 (Windows XP のみ)

Windows Vista/Windows 7をお使いの場合、ここでの設定は必要ありません。手順6に進んでください。

3. [スタート]→([設定])→[コントロールパネル]をクリックしたあと、表示される画面左上の「クラシック表示(クラシック表示に切り替える)」をクリックします。

NOTE

インストールが終了したら、ここでの設定を元に戻してください。

4. [システム]→[ハードウェア]→[ドライバの署名]→[ドライバ署名オプション]で「無視ソフトウェアをインストールし、確認を求めない」を選択して、[OK]をクリックします。

NOTE

インストールが終了したら、ここでの設定を元に戻してください。

5. [OK] をクリックしてシステムのプロパティを閉じてから、画面右上の「X」をクリックしてコントロールパネルを閉じます。

ソフトウェアのインストール

6. TOOLS for CI2 CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。

7. CD-ROMを開き、「setup.exe」をダブルクリックします。

「TOOLS for CI2 セットアップへようこそ」という画面が表示されます。

(Windows Vista/Windows 7)「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「続行」または「はい」をクリックします。

8. [次へ]をクリックすると、インストールが開始されます。

インストールを中断するには、「キャンセル」をクリックしてください。

9. インストールが完了すると、インストール完了のメッセージが表示されます。

[完了]をクリックします。

10. 再起動を促す画面が表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動します。

11. 付属のUSBケーブルを使って、CI2+をコンピューターのUSB端子にハブを使わず直接接続します。

ドライバーの初期設定 (Windows XP のみ)

Windows Vista/Windows 7をお使いの場合、ドライバーの初期設定は自動的に行なわれます。手順15に進んでください。

12. CI2+がコンピューターに認識され、「新しいハードウェアの検出ウィザード」という画面が表示されます。

この画面が表示されるまでに数分かかる場合があります。

Windows Update に接続するかどうか選ぶ画面が表示されることがありますが、「いいえ、今回は接続しません」を選んで[次へ]をクリックしてください。

13. 「ソフトウェアを自動的にインストールする」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れ、[次へ]をクリックします。

インストール中、「ロゴテストに合格していません」というメッセージが表示された場合は、「続行」をクリックします。インストールを中止する必要はありません。

14. インストールが完了すると、インストール完了のメッセージが表示されますので、[完了]をクリックします。

インストール後の確認

15. [スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択します。

16. 次の方法で「デバイスマネージャー」を表示します。

(Windows Vista/Windows 7)

「ハードウェアとサウンド」→「デバイスマネージャー」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「続行」または「はい」をクリックします。

(Windows XP)

[システム]アイコンをダブルクリックして、「システムのプロパティ」を表示させたあと、「ハードウェア」のタブを選び[デバイスマネージャ]をクリックします。

17. 「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」の左側の[+]マークまたは[>]マークをクリックし、「Steinberg CI2+」が表示されていることを確認します。

以上で、インストールは完了です。

Mac OS X の場合

ソフトウェアのインストール

1. コンピューターから、マウスとキーボード以外のUSB機器をすべて外します。
2. TOOLS for CI2 CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。
3. CD-ROMを開き、「TOOLS for CI2.mpkg」をダブルクリックします。
4. 「このパッケージには、ソフトウェアをインストールできるかどうかを判断するプログラムが含まれています。続けてもよろしいですか?」というダイアログが表示されたら、「続ける」をクリックします。
「ようこそTOOLS for CI2 インストーラへ」画面が表示されます。
5. [続ける]をクリックします。
「インストールの種類」画面が表示されます。
6. [インストール]をクリックします。
「認証」画面が表示されます。
7. 管理者権限のある名前とパスワードを入力して、[OK]をクリックします。
インストール後に再起動することを確認する画面が表示されます。
8. [インストールを続ける]をクリックします。
「インストール」画面が表示され、インストールの進行状況が確認できます。
インストールが終了すると「概要」画面が表示されます。
9. [再起動]をクリックしてコンピューターを再起動します。
10. 付属のUSBケーブルを使って、CI2+をコンピューターのUSB端子にハブを使わず直接接続します。

インストール後の確認 (Mac OS X 10.5)

Mac OS X 10.6をお使いの場合、手順13へ進んでください。

11. OSがインストールされているハードディスク (通常Macintosh HD)から[アプリケーション]→[ユーティリティ]を開き、[Audio MIDI設定]をダブルクリックします。
「Audio MIDI設定」画面が表示されます。
12. [オーディオ装置]をクリックし、[プロパティ]欄の矢印をクリックして「Steinberg CI2+」を選びます。
[オーディオ入力]と[オーディオ出力]欄に現在のオーディオの設定が表示されます。

NOTE

[システム設定]欄の[デフォルトの出力]で「Steinberg CI2+」を選択すると、システムサウンドや各種オーディオプレーヤーソフトウェア (iTunesなど) のオーディオを、お使いのCI2+から出力できます。

以上で、インストールは完了です。

インストール後の確認 (Mac OS X 10.6)

13. OSがインストールされているハードディスク (通常Macintosh HD)から[アプリケーション]→[ユーティリティ]を開き、[Audio MIDI設定]をダブルクリックします。
「オーディオ装置」画面が表示されます。
14. オーディオ装置のリストから「Steinberg CI2+」を選びます。
現在のオーディオの設定が画面の右側に表示されません。

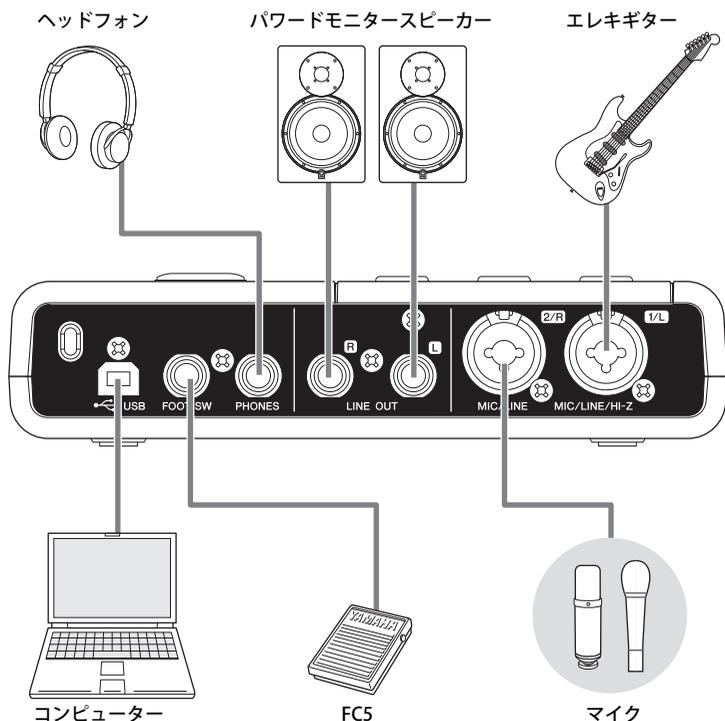
NOTE

「オーディオ装置」画面の左下にある[アクション]メニュー (歯車のアイコン) で[このサウンド出力装置を使用]を選択すると、各種オーディオプレーヤーソフトウェア (iTunesなど) のオーディオを、お使いのCI2+から出力できます。

以上で、インストールは完了です。

機器との接続

接続例



オプション(別売)

フットスイッチ

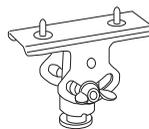
ヤマハ製フットスイッチ「FC5」をCI2+のリアパネルのFOOT SW端子に接続できます。フットスイッチを接続すれば、[ACTION PAD] ボタンの機能をフットスイッチで行なえます。



FC5

マイクスタンドアダプター

ヤマハ製マイクスタンドアダプター「BMS-10A」をCI2+の底面に取り付けできます。マイクスタンドアダプターを取り付ければ、CI2+をマイクスタンドに取り付けて使用できます。



BMS-10A

使ってみよう

ここでは、CI2+とCubaseを使って録音や編集をする操作手順を説明します。本書の各部の名称と機能(9ページ)や、Cubaseに付属のマニュアル(「ヘルプ」メニューから開くPDF形式のマニュアル)とあわせてご活用ください。

Cubase で使う準備

次の手順でCubaseを起動しましょう。

1. すべてのアプリケーションが終了していることを確認します。
2. CI2+とUSB-eLicenserをコンピューターのUSB端子に接続します。

重要

- (Windowsのみ) CI2+とUSB-eLicenserは、ソフトウェアのインストール(14ページ)時と同じUSB端子に接続してください。別のUSB端子に接続した場合は、もう一度ドライバのインストールが行なわれます。
- USB-eLicenserは、Cubase起動中は常に接続する必要があります。

3. Cubaseを起動します。

Cubase起動中に次のダイアログが表示された場合は、[はい]をクリックします。



4. 「プロジェクトアシスタント」画面が表示されたら、CI2+のAI KNOBを回してカーソルを「レコーディング」に合わせたあと、CI2+の[ACTION PAD]ボタンを押します。

NOTE

[ACTION PAD]ボタンを押すと、カーソルが動かせる欄を切り替えることができます。

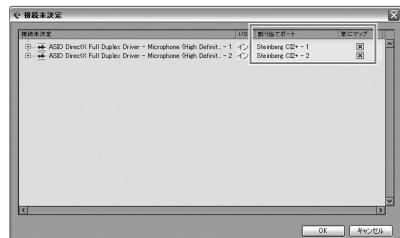
5. AI KNOBを回して選択したいプロジェクトテンプレートにカーソルを合わせたあと、AI KNOBを押して決定します。

プロジェクトウィンドウが表示されます。

NOTE

「プロジェクトの場所を表示」を選択した場合は、「プロジェクトフォルダーを設定」画面が表示されます。マウスを使って任意のプロジェクトフォルダーを指定し、「OK」をクリックしてください。

6. 「接続未決定」画面が表示された場合、各「割り当てポート」にCI2+のポートを選択したあと、「常にマップ」にもチェックを入れてから[OK]をクリックします。



NOTE

「常にマップ」にチェックを入れると、次回からは「接続未決定」画面が表示されなくなります。

以上で、Cubaseで使う準備は完了です。

録音してみよう

次の手順で、Cubaseのインタラクティブレコーディング機能を使って録音してみましょう。インタラクティブレコーディング機能は、CI2+の[ACTION PAD]ボタンを使います。

NOTE

- インタラクティブレコーディング機能は、Cubaseの「自動モニタリング」の設定に「テープマシンスタイル」を選択しているときに最適に動作します。Cubaseのメニュー [ファイル(Windows)またはCubase Essential(Mac)] → [環境設定] → [VST]を開き、「自動モニタリング」に「テープマシンスタイル」を設定してください。
- 別売のヤマハ製フットスイッチ「FC5」を接続すれば、[ACTION PAD]ボタンの機能をフットスイッチで行なえます。

- CI2+のアナログ入力端子にマイクや楽器などを接続します。



注意

マイクや楽器などの外部機器を接続するときは、必ず外部機器およびモニタースピーカー（パワードスピーカー）の音量（ボリューム）を最小にして、電源を切っておいてください。また、CI2+のMASTERコントロールなどの出力コントロールはすべて最小にして、[HI-Z INPUT 1]ボタンと[PHANTOM INPUT 1&2]ボタンはオフ（■）にしておいてください。大音量が出て、聴力障害または外部機器の損傷になることがあります。

- トラックリスト（トラック名が表示されている箇所）をクリックして、録音するトラックを選択します。



- 録音するトラックの録音可能ボタンがオンになっていることを確認します。

録音可能ボタンがオフになっている場合は、クリックしてオンにしてください。



- 録音する楽器を演奏しながら、CI2+のGAINコントロールで録音レベルを調整します。

信号の最大入力時にCI2+のPEAKインジケーターが一瞬点灯する程度に設定すると、録音レベルのバランスがとれた良好な状態になります。

NOTE

- Cubaseのトランスポートパネルのレベルメーターが振り切れる場合（クリッピングインジケーターが赤く点灯する場合）、CI2+のGAINコントロールを下げてください。
 - CI2+のMIXコントロールを使うと、アナログ入力端子に入力された信号（INPUT）と、Cubaseから出力された信号（DAW）の音量バランスを調整できます。
- [ACTION PAD]ボタンを押して、インタラクティブレコーディングパネルを表示します。



- [ACTION PAD]ボタンを押して、録音を開始します。

インタラクティブレコーディングパネル上の「録音」が実行され、録音が始まります。

- 楽器を演奏します。

NOTE

- CI2+の[LOCK]ボタンを押すと、インタラクティブレコーディング機能を中断して、インタラクティブレコーディングパネルを閉じることができます。
- CI2+の[LOCK]ボタンを2秒以上押すと、手順6からやり直すことができます。

8. 演奏が終わったら、[ACTION PAD] ボタンを押して停止します。

インタラクティブレコーディングパネル上の「停止」が実行され、停止します。

9. [ACTION PAD] ボタンを押して、プロジェクトカーソルを開始位置に戻します。

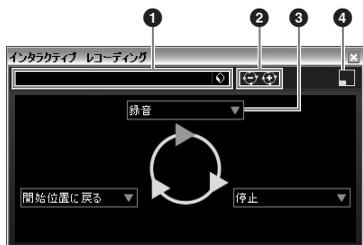
インタラクティブレコーディングパネル上の「開始位置に戻る」が実行され、プロジェクトカーソルが開始位置に戻ります。

録音結果を再生するには、トランスポートの再生を押します。

以上で、録音の操作説明は完了です。

TIP

インタラクティブレコーディングパネルでは、次のような操作もできます。



- ① 一連の動作を保存したり、呼び出したりできます。
- ② 一連の動作の総数を増やしたり、減らしたりできます。総数は、最小2個から最大6個までです。
- ③ 別の動作に変更できます。
- ④ 小さなインタラクティブレコーディングパネルに切り替えられます。ただし、小さなパネルでは、保存した一連の動作の呼び出し以外は操作できません。

TIP

オーディオドライバーのバッファサイズの設定について

オーディオデータを扱う DAW ソフトウェアなどのアプリケーションを使用中に、ノイズが発生するなどオーディオデータを正しく録音/再生できないことがあります。この場合、オーディオドライバーのバッファサイズ(音が途切れないように一時的にデータを読み込んでおく場所の大きさ)を調整することで改善できることがあります。バッファサイズは、通常、アプリケーションのオーディオドライバーの設定画面で調整します。(Windows の ASIO 対応アプリケーションでは、Yamaha Steinberg USB Driver のコントロールパネルの ASIO Buffer Size で調整します。)

バッファサイズを大きくすると、コンピューターの CPU への負荷を軽減できますが、オーディオデータの録音/再生時にレイテンシー(遅延)が大きくなります。逆にバッファサイズが小さすぎると、録音/再生時にノイズが発生したり、一時的に音切れしたりする場合があります。なお、適切なバッファサイズは、お使いのコンピューターの性能や使用状況 (DAW ソフトウェアで録音/再生しているオーディオ/MIDIトラック数や使用しているプラグインソフトウェア数など)によって異なります。

編集してみよう

次の手順で、CI2+のAI KNOBと[LOCK]ボタンを使って編集してみましょう。

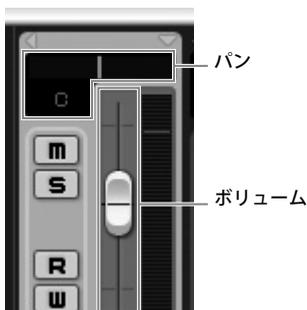
AI KNOB

AI KNOBは、Cubase上の様々なパラメーターにマウスポインターをあてるだけで、瞬時に該当するパラメーターを操作できます。ここでは、AI KNOBを使ってCubaseのミキサーウィンドウに表示されるオーディオトラックのボリュームやパンなどのパラメーターを操作してみましょう。

1. Cubaseのメニューから、[デバイス]→[ミキサー]をクリックします。

ミキサーウィンドウが表示されます。

2. ミキサーウィンドウに表示されるオーディオトラックのボリュームやパンにマウスポインターを合わせます。



3. AI KNOBを回します。

マウスポインターを合わせたパラメーターが変化します。

NOTE

AI KNOBで操作可能なパラメーターは、Cubaseの主要な画面およびプラグインソフトウェアの、オートメーション可能なパラメーターです。プラグインソフトウェアに関しては、Cubaseに標準搭載されているVST3プラグインが対応しています(2010年2月現在)。対応するプラグインソフトウェアに関しての最新情報は、下記URLをご参照ください。

http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/supportupdates_ci2plus_j

[LOCK] ボタン

[LOCK]ボタンは、AI KNOBで操作するパラメーターを固定できるボタンです。ここでは、[LOCK]ボタンを使って、CubaseのボリュームパラメーターをAI KNOBに固定してみましょう。

1. ボリュームにマウスポインターを合わせたまま、[LOCK]ボタンをオンにします。

[LOCK]インジケーターが点灯します。

2. マウスポインターを別の場所に移動します。

3. AI KNOBを回します。

マウスポインターの位置にかかわらず、ボリュームが変化します。

[LOCK]ボタンをオフにすれば、すぐにロックを解除して、ほかのパラメーターを操作できます。

同様の方法で、他のパラメーターも編集できます。

以上で、編集の操作説明は完了です。

製品に関する情報は、下記URLのSteinberg Media Technologies社のホームページをご覧ください。

<http://japan.steinberg.net/>

困ったときは？

電源が入らない

- **コンピューターとCI2+がUSBケーブルで正しく接続されていますか？**
コンピューターとCI2+をUSBケーブルで接続することで、CI2+に電源を供給できます。
- **正常なUSBケーブルを使っていますか？**
USBケーブルが断線などで劣化している場合は、正常なUSBケーブルに交換してください。また1.5m以下のUSBケーブルをお使いください。
- **コンピューターとCI2+を、USBハブ経由で接続していませんか？**
コンピューターのUSB端子に直接接続してください。

音が鳴らない

- **CI2+のMASTER/PHONES/MIXコントロールのレベルは適切ですか？**
- **スピーカーケーブルが正しく接続されていますか？**
18ページの接続例をご参照ください。
- **スピーカーケーブルがショート(断線)していませんか？**
- **音源、オーディオ機器、アプリケーション、OS(コンピューター)などの音量設定は上がっていますか？**
- **(Windowsのみ) OS(コンピューター)の出力がミュートまたは、消音の設定になっていませんか？**
- **複数のアプリケーションを起動していませんか？**
不要なアプリケーションなどは終了してください。
- **Cubaseの「ASIOドライバー」の設定は適切ですか？**
デバイス設定画面([デバイス]→[デバイス設定])の左側にある「デバイス」欄で「VST オーディオシステム」を選択し、右側にある「ASIO ドライバー」に「Yamaha Steinberg USB ASIO (Windows)」または「Steinberg CI2+ (Mac)」が選択されているかご確認ください。

ノイズが発生する、音が途切れる、音が歪む

- **PEAKインジケーターが赤く点灯していませんか？**
GAINコントロールのレベルを下げてください。
- **お使いのコンピューターは推奨環境を満たしていますか？**
8ページの動作環境をご参照ください。
- **Yamaha Steinberg USB Driverのバッファサイズの設定は適切ですか？**
21ページのTIP「オーディオドライバーのバッファサイズの設定について」をご参照ください。
- **他のアプリケーションやデバイスドライバーやUSBデバイス(スキャナー、プリンターなど)は動作していませんか？**
不要なアプリケーションなどは終了してください。
- **たくさんのオーディオトラックを再生していませんか？**
お使いのコンピューターの能力によっては、たくさんのオーディオトラックを再生すると音が途切れたりすることがあります。
- **長時間のオーディオデータの録音/再生をしていませんか？**
お使いのコンピューターによっては、オーディオデータの処理速度や外部記憶装置へのアクセスなどのさまざまな要因により、処理能力が低下する場合があります。
- **ネットワークアダプターは動作していませんか？**
ネットワークアダプターの動作を停止してみてください。ネットワークアダプターがノイズの原因になることがあります。

Cubase 上で CI2+ が認識されない、 Cubase をリモートコントロールできない

- コンピューターと CI2+ が USB ケーブルで正しく接続されていますか？
- **正常な USB ケーブルを使っていますか？**
USB ケーブルが断線などで劣化している場合は、正常な USB ケーブルに交換してください。また、1.5m 以下の USB ケーブルをお使いください。
- **Cubase 起動前にコンピューターと CI2+ を接続しましたか？**
- **Yamaha Steinberg USB Driver および Steinberg CI2 Extension はインストールされていますか？**
- **CI2+ との連携機能に対応した Cubase (11 ページ) を使っていますか？**
- **Cubase 上のポート設定で、CI2+ が選択されていますか？**
デバイス設定画面([デバイス] → [デバイス設定])の左側にある「デバイス」欄で、「リモートデバイス」の「Steinberg CI2+」を選択し、「MIDI 入力」/「MIDI 出力」をご確認ください。
- **Cubase の「MIDI ポートのセットアップ」で、CI2+ の MIDI ポートに「All MIDI Inputs」のチェックが入っていませんか？**
MIDI ポートのセットアップ画面([デバイス設定] → [デバイス設定] → [MIDI ポートのセットアップ])の右側で、CI2+ の MIDI ポートの All MIDI Inputs にチェックが入っている場合、外してください。
- **Steinberg CC121 と CI2+ を同時に 1 台のコンピューターに接続していませんか？**
CC121 と CI2+ を同時に 1 台のコンピューターに接続した場合、CI2+ の AI KNOB、[LOCK] ボタンはご利用いただけません。

USB-eLicenser がコンピューターから正しく認識されない

- **USB-eLicenser を USB ハブ経由で接続していませんか？**
USB-eLicenser をコンピューター本体の USB ポートに直接接続して動作をご確認ください。
- **古いバージョンの USB-eLicenser のドライバーを使用していませんか？**
下記 URL より最新のドライバーをダウンロードし、インストールしてください。
<http://japan.steinberg.net/jp/support/758/elcc.html>

TOOLS for CI2 のアンインストール

TOOLS for CI2をアンインストールするには、以下の2つのソフトウェアを個別に削除する必要があります。

- Yamaha Steinberg USB Driver
- Steinberg CI2 Extension

Windows の場合

1. コンピューターから、マウスとキーボード以外のUSB機器をすべて外します。

2. 管理者権限のあるアカウントでWindowsにログインします。

アプリケーションを終了し、使っていないウィンドウをすべて閉じます。

3. 次の方法で、アンインストールするための画面を表示します。

(Windows Vista/Windows 7)

[スタート]→[コントロールパネル]→[プログラムのアンインストール]を選択し、「プログラムのアンインストールまたは変更」を表示します。

(Windows XP)

[スタート]→[(設定)→][コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除]を選択し、「プログラムの追加と削除」を表示します。左上の「プログラムの変更と削除」をクリックします。

4. リストの中から「Yamaha Steinberg USB Driver」/「Steinberg CI2 Extension」を選択します。

5. 次の方法でアンインストールします。

(Windows Vista/Windows 7)

[アンインストール]/[アンインストールと変更]をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]または[はい]をクリックします。

ダイアログが表示されますので、画面の指示に従って削除を実行してください。

(Windows XP)

[変更と削除]/[削除]をクリックします。

ダイアログが表示されますので、画面の指示に従って削除を実行してください。

Mac OS X の場合

Yamaha Steinberg USB Driver の削除

以下のフォルダーおよびファイルを起動ディスク (通常はMacintosh HD)から削除してください。

/システム/ライブラリ/Extensions

YamahaSteinbergUSBAudio.kext

/アプリケーション/Yamaha/USBDriver/

Yamaha Steinberg USB Control Panel.app

/ライブラリ/PreferencePanes/

Yamaha Steinberg USB.prefPane

/ライブラリ/Preferences/

com.yamaha.YamahaSteinbergUSBDriver.plist

/ライブラリ/Audio/MIDI Drivers/

YamahaSteinbergUSBMIDI.plugin

/ライブラリ/Audio/MIDI Devices/Yamaha/Images/

USB_1500.tiff

USB_1502.tiff

/ライブラリ/Receipts/

YamahaSteinbergUSBAudioDriver.pkg

YamahaSteinbergUSBControlPanel.pkg

YamahaSteinbergUSBDriverplist.pkg

YamahaSteinbergUSBMIDIPlugin.pkg

YamahaSteinbergUSBMIDIIcon.pkg

YamahaSteinbergUSBPrefPane.pkg

Steinberg CI2 Extension の削除

以下のフォルダーおよびファイルを起動ディスク (通常はMacintosh HD)から削除してください。

/ライブラリ/Application Support/Steinberg/Components/

ci2_extension_u.bundle

/ライブラリ/Application Support/Yamaha/

InteractiveRecording

/ライブラリ/Receipts/

Steinberg CI2 Extension.pkg

資料

入出力仕様

アナログ入力	Type	入力レベル		
		定格入力レベル	最大入力レベル	入力インピーダンス
MIC 1/L, 2/R	XLRタイプ、バランス型、 +48Vファンタム電源供給	-60dBu ~ -16dBu	-6dBu	3k Ω
HI-Z 1/L	フォーンタイプ、 アンバランス型	-44dBu ~ 0dBu	+10dBu	500k Ω
LINE 1/L, 2/R	TRSフォーンタイプ、 バランス型	-34dBu ~ +10dBu	+20dBu	62k Ω

アナログ出力	Type	出力レベル		
		定格出力レベル	最大出力レベル	定格負荷インピーダンス
LINE OUT L, R	TRSフォーンタイプ、 インピーダンスバランス型	+4dBu	+10dBu	10k Ω
PHONES	TRSフォーンタイプ、 ステレオ	3.6mW	6.0mW	40 Ω

一般仕様

USB端子	USB1.1, 44,1/48 kHz, 24bit, バス/パワー
最大外形寸法(W x H x D)	W190 x H45.4 x D134.5 mm
質量	701 g
付属品	オペレーションマニュアル TOOLS for CI2 CD-ROM Cubase Essential DVD-ROM USB-eLicenser ESSENTIAL PRODUCT LICENSE INFORMATIONカード USBケーブル フェライトコア

仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。

TOOLS for CI2 のご使用条件

ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、＜ソフトウェア使用許諾契約＞を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

本ソフトウェアのディスクの包装を解かれた場合は下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上開封してください。ご同意いただけない場合は、インストール、コピー、その他のご使用はおやめください。

ソフトウェア使用許諾契約

1. 著作権および使用許諾

弊社はお客様に対し、ソフトウェアプログラムおよびデータファイル（以下「本ソフトウェア」といいます。）を使用する権利を許諾します。本契約条項は、今後お客様に一定の条件付きで配布され得る本ソフトウェアのバージョンアッププログラム、データファイルにも適用されるものとします。本ソフトウェアの権利およびその著作権は、弊社または弊社のライセンサーが有します。本ソフトウェアの使用によって作成されたデータの権利はお客様が取得しますが、本ソフトウェアは、関連する著作権法規のもとで保護されています。

- お客様ご自身が一時に一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。
- バックアップが許されているものは、バックアップをとる目的でのみ、機械で読み取れる形式での本ソフトウェアのコピーを作成することができます。ただし、そのバックアップコピーには本ソフトウェアに表示されている弊社の著作権の表示や他の権利帰属についての説明文もコピーしてください。
- お客様は、本ソフトウェアを使用する権利を第三者に譲渡することができますが、それは、お客様が本ソフトウェアのコピーを保持せず、かつ譲受人が本契約条項に同意する場合に限られます。

2. 使用制限

(1) 本ソフトウェアの使用にあたっては、次のことを遵守してください。

- 本ソフトウェアには著作権があり、その保護のため、お客様が本ソフトウェアを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他のいかなる方法によっても、人間が感得できる形にすることは許されません。
- 本ソフトウェアの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、頒布または本ソフトウェアの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。
- 本ソフトウェアをネットワークを通して別のコンピュータに伝送したり、ネットワークで他のコンピュータと共有することは許されません。
- 本ソフトウェアを使用して、違法なデータや公序良俗に反するデータを配信することは許されません。
- 弊社の許可無く本ソフトウェアの使用を前提としたサービスを立ち上げることは許されません。

(2) 楽曲用 MIDI データ等、本ソフトウェアにより使用または入手できる著作権曲については次のことを遵守してください。

- 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく営業目的で使用することは許されません。
- 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく複製、転送または配信したり、または不特定多数にむけて再生および演奏することは許されません。
- 本ソフトウェアの使用によって入手できるデータの暗号を著作権者の許可無く解除したり、電子透かしを改変したりすることは許されません。

3. 終了

本契約はお客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日に発効します。本契約は、お客様が著作権法または本契約条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに本ソフトウェアとそれに関するドキュメンテーション、およびそれらのコピーをすべて廃棄しなければなりません。

4. 製品の保証

本ソフトウェアがディスク等の媒体で販売された場合や、ディスク等の媒体で製品に同梱された場合には、弊社は、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から14日間に限り（お受け取りの日は、受領書の写しで証明される日とします）、媒体に物理的な欠陥があった場合には、その原因が事故、乱用、誤用など弊社の責に帰さない事由による場合を除き、無償で同種の良品と交換させていただきます。弊社はそれ以上の保証はいたしません。

5. 本ソフトウェアに関する保証

本ソフトウェアのご使用についての一切のリスクはお客様のご負担となります。

本ソフトウェアの商品性、特定の目的への適合性、第三者の権利を侵害しないことの保証は明示であると黙示であるとを問わず、一切いたしません。特にお客様の目的に適合することや、ソフトウェアの操作が中断されないことやソフトウェアの欠陥や瑕疵が修正されることの保証はいたしません。

6. 責任の制限

弊社の義務は、お客様に本契約条項の条件で本ソフトウェアの使用を許諾することがすべてです。

弊社は、本ソフトウェアの使用、誤用またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生の可能性について予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。すべての損害、損失、契約や違法行為等に対する訴訟申立てについて、いかなる場合も、お客様に対する弊社の責任は、お客様が本ソフトウェアの購入のために支払った金額を越えることはありません。

7. 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション（以下「第三者ソフトウェア」といいます）を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本契約条項にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われる

ものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとし、ます。

- ・ 弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。
- ・ 弊社は、明示であると黙示であるとを問わず、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証をいたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様の負担となります。
- ・ 弊社は、第三者ソフトウェアの使用、誤用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

8. 一般事項

本契約条項は、弊社の権限ある者の署名のある書面によらない限り、改訂することはできません。

本契約条項は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとし、ます。本契約に関し紛争が生じた場合には東京地方裁判所を専属管轄裁判所とします。

ユーザーサポートサービスについて

無償サポートサービスについて

製品には万全を期しておりますが、万一付属メディア（CD-ROM、DVD-ROM、USB-eLicenserなど）に記録されたプログラムなどの内容が、ご購入時にすでに破壊や欠損を起していたために正常に動作しない場合、メディアを修復または交換いたします。下記手順でお申し込みください。

1. スタインバーク・コンピューターミュージックご相談窓口までご連絡ください。
2. 修復の必要なメディア、お客様情報（ご住所、お名前、電話番号）をご記入いただいた用紙、および動作の状態を明記した文書を添えて「スタインバーク・コンピューターミュージックご相談窓口」までお送りください。

重要

- 「ご購入時」とは、製品をお求めいただいてから14日以内とさせていただきます。
- ご返送には、郵便書留か宅配便をご利用ください（宅配便は、着払いをご利用いただけます）。
- 返送の途中でメディアが破損しないように十分注意して包装してください（返送の途中でメディアが破損または紛失した場合、弊社では責任を負いかねます）。

ユーザー登録のお願い

弊社では、ユーザーの方々をサポートし、関連情報をご提供するために、本製品をご購入いただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。

ユーザー登録手続きは、スタインバーク・ホームページ内の『MySteinberg』で行ないます。詳細については下記URLをご参照ください。

MySteinberg

http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/register_j

重要

- ご登録いただいた個人情報につきましては、ご購入製品のサポート、ご購入製品や関連製品のご案内、およびご購入者分析に利用いたします。

住所 / 氏名 / メールアドレスの変更 (同一使用者の範囲内)

ご登録いただいた「ご住所」、「お名前」、「メールアドレス」のサポート、ご購入製品や関連製品のご案内、およびご購入者分析に利用いたします。

質問の受付

スタインバーク製品は、常に新技術 / 高機能を搭載し技術革新を進める一方、お使いになる方々の負担とわずらわしさを軽減できるような製品づくりを進めております。また取扱説明書の記載内容も、よりわかりやすく使いやすいものにするため、研究 / 改善いたしております。

しかし、一部高機能な製品では、取扱説明書だけでは説明しきれないほどのいろいろな知識や経験が必要とになってしまう場合があります。

実際の操作に関して、基本項目はオペレーションマニュアルに解説いたしておりますが、「記載内容が理解できない」、「手順通りに動作しない」、「記載が見つからない」といったさまざまな問題が起こる場合があります。

そのようなお客様への一助となるよう、弊社ではスタインバーク・コンピューターミュージックご相談窓口を開設いたしております。

お気軽にご利用いただけますようご案内申し上げます。

お問い合わせの際には、「製品名」、「MySteinbergのユーザーネーム」、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」製品シリアル番号 (SER No.)」をお知らせください。

お客様コミュニケーションセンター スタインバーク・コンピューターミュージック ご相談窓口

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1
ヤマハ(株)お客様コミュニケーションセンター
スタインバーク・コンピューターミュージック
ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-016-808

※ 一般電話、公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは 053-460-5270

営業時間：月曜日～金曜日 10:00～18:00

土曜日 10:00～17:00

(祝日およびセンター指定休日を除く)

スタインバーク製品の日本語ホームページ

(WEBの質問受け付け窓口)

<http://japan.steinberg.net/>

* ユーザーサポートサービスは日本国内においてのみ有効です。

* テクニカルサポートはサポート期間内の製品に限らせていただきます。

有償サポートサービスについて

お客様が本製品をご使用中に、メディア（CD-ROM、DVD-ROM、USB-eLicenserなど）を破損された場合、有償でメディアを購入時と同等に修復または交換いたします。下記手順でお申し込みください。

1. スタインバーグ・コンピューターミュージックで相談窓口までご連絡ください。
2. お客様情報（ご住所、お名前、電話番号、E-Mail アドレス、MySteinberg ユーザーネーム、お買い上げ製品名）をご記入いただいた用紙と手数料（¥5,000：消費税込み）を現金書留にてスタインバーグ・コンピューターミュージックで相談窓口までお送りください。
3. メディアを送付される場合は、お客様情報（ご住所、お名前、電話番号、MySteinberg ユーザーネーム）を明記して、郵便書留にてスタインバーグ・コンピューターミュージックで相談窓口までお送りください。

重要

- 有償サポートサービスの受付期間は、お客様が本製品をご購入後、一年以内とさせていただきます。
- 有償サポートサービスはユーザー登録が完了されているお客様へご提供させていただいております。
- 修復/交換には、破損/故障したメディアが必要です。
- 必ずご登録いただいたご住所、お名前でお申し込みください。
- お客様からスタインバーグ・コンピューターミュージックで相談窓口への送料は、お客様にてご負担ください。
- 普通郵便などでお送りになられた際の事故につきましては、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- お申し込みいただきましたメディアを、手数料の確認の後、登録されたご住所に発送いたします。お申し込み後、2週間過ぎても製品が届かない場合は、スタインバーグ・コンピューターミュージックで相談窓口までご連絡ください。

ご購入に関するお問い合わせ先

ヤマハ株式会社

国内営業本部 EKB・LM 営業部 営業推進室

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

TEL. (03) 5488-5430

PA・DMI 事業部 PA 推進部 MPP マーケティンググループ

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

スタインバーグ・ホームページ

<http://japan.steinberg.net/>

お客様サポート & サービス

<http://www.yamaha.co.jp/support/steinberg>

* 都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日から1年間です。

保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間或使用環境などにより劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子など

補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

持込み修理のお願い

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ修理ご相談センターへ本機をご持参ください。

製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通番号)  0570-012-808
※携帯電話、PHS、IP電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは TEL 053-460-4830

受付時間

月曜日～金曜日 9:00～18:00、土曜日 9:00～17:00

(祝日およびセンター指定休日を除く)

FAX 053-463-1127

修理品お持込み窓口

受付時間

月曜日～金曜日 9:00～17:45

(祝日および弊社休業日を除く)

* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

北海道サービスステーション

〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50

ヤマハセンター内

FAX 011-512-6109

首都圏サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1

京浜トラックターミナル内14号棟A-5F

FAX 03-5762-2125

名古屋サービスセンター

〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2

ヤマハ(株)名古屋倉庫3F

FAX 052-652-0043

大阪サービスセンター

〒564-0052 吹田市広芝町10-28

オーク江坂ビルディング2F

FAX 06-6330-5535

九州サービスステーション

〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4

FAX 092-472-2137

* 名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

保証書

待込修理		保 証 書	
品 名	USB AUDIO INTERFACE		
品 番	CI2+		
※シリアル番号			
保 証 期 間	本 体	ご購入の日から1年間	
※ご購入日	年 月 日		
お 客 様	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>		
	ご住所 お名前 電 話 ()		
		※販 売 店	店 名 所在地 電 話 ()
ヤマハ株式会社 PA・DMI事業部 〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10番1号 TEL 053-460-2445			

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入してお渡しく下さい。

無償修理規定

1. 保証期間中、正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態）で故障した場合には、無償修理を致します。
 2. 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。
 3. ご贈答品、ご購入後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、最寄りの※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
 4. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - (1) 本書のご提示がない場合。
 - (2) 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - (3) 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (4) お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (5) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - (6) お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。
 5. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
 6. この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。
- * この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
- ※ ヤマハ株式会社の連絡窓口その他につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

Steinberg Web Site
<http://www.steinberg.net>

U.R.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation
© 2010 Yamaha Corporation
[WU10640] 002MWAP?.?-01A0

